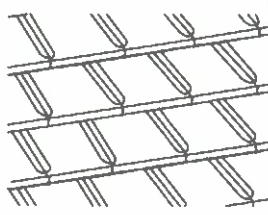


## 1 洋風住宅にもマッチする瓦が登場

瓦と言えば伝統的な日本瓦をイメージしますが、最近は家の洋風化に合わせて様々な瓦が登場してきました。断面形状がS字型のものやフラットなものなど個性豊かな外観を演出できるいろいろな瓦があります。またセメント系のスレート屋根の中には、焼き物のような重厚感を出したものや、色の濃淡を付けて表現を豊かにしているものがあります。



デザインにも  
こだわりたい!



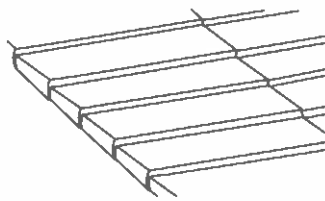
## 理由1

バラエティー豊富な屋根材が個性豊かな家の外観を演出してくれます

# 家の外観は屋根が決め手です。

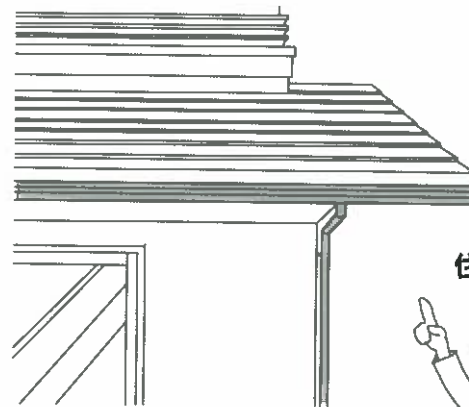
## 2 デザイン住宅に金属製の屋根が人気

昔、トタン屋根と呼ばれていた金属製の屋根は、波形やフラットな形のものが多く、安っぽい印象がありました。最近は金属製の屋根に形状や色調に高級感を持たせ、自然のぬくもりを出したタイプや、焼き物のように見えるタイプが登場し、個性的なデザイン住宅に人気があります。



## 3 雨といもデザイン性がアップ

雨といの役割は、屋根に降った雨水を集め、スムーズに地面の排水口へ流す家の脇役ですが、目立つ場所にあるため家のデザインには重要です。最近は雨といがなるべく住宅と一体化して目立ちにくくしたデザインになっています。また、秋に頭を悩ませるのが、雨といに詰まる落ち葉です。落ち葉よけのネットを付ければ落ち葉やゴミが雨とい中に落ちるのを防ぎ、詰まりを防止してくれます。



住宅と一体化!



## 知っておきたい豆知識

軽くて人気!  
天然石に似たスレート瓦

スレートとは、もともと粘板岩という泥が堆積して出来た岩のことです。板状に薄く割りやすく、海外でも昔から屋根材に使われてきました。今のスレート瓦はセメントを主原料として天然石に似せて成形した人工の屋根材です。瓦に比べて軽く、安価なため幅広く使われています。



**屋根材と一体型のソーラーパネル**  
最近では、屋根の上に太陽光発電装置（ソーラーパネル）を付ける人が増えていきます。通常、リフォームではフレームを組んだ上に太陽光のシステムを取り付ける方法が一般的です。しかしフレーム部分が見え、デザイン性に劣るため、屋根材と一体化したスツキリしたデザインのソーラーパネルが登場しました。

